

ウッドデザイン賞2017 入賞作品一覧 2017.10.25

建材・部材分野

ライフスタイルデザイン部門

受賞作品名	受賞団体名(主たる応募者、共同応募者)	サブカテゴリ	受賞作品の概要	写真
信州型接着重ね梁(信州型SKB)	信州木材認証製品センター(長野)、長野県林業総合センター(長野)	構造材	小中径木から製材された複数の部材を接着することにより、無垢材に近い質感のある建築部材です。平成28年4月には、建築基準法第37条に基づく国土交通大臣の認定を取得しました。 用途:梁・桁材 対象者:公共建築物、一般住宅等 機能:選別された良材を組み合わせることで、安定した強度の梁桁材が得られる。	
中空木材	親和木材工業(株)(岐阜)	構造材	「中空木材」は間伐材(特に小径木や未利用材)の有効利用を目的に開発された部材です。角材の内部を空洞にすることで様々なメリット、効果を生み出し、優れた性能を保つことに成功しました。「中空」ですが、中には開発者の血と汗と涙、知恵と創意工夫、高度な加工技術、そして活用の可能性がぎゅっと詰まっています。	
うららぎ	東エシャッター(株)(福井)	開口部(窓・ドア)	子どもたちが元気いっぱい活動する体育館、地産木材を使用した縦格子状の建築建具が、光と風を全面から取り込みつつ、ボールがガラスに衝突することを防ぎます。 また、この建具は折りたたみ式で、開口の1/7とコンパクトに収納しますので、常識を超えた圧倒的な解放感を実現します。	
SHI-KI-RI	(株)きんぱら(静岡)	インテリア	厚さ2mmの木が「膜」として空間を仕切ることで、物理的に空間を仕切るのではなく精神的に領域を区画し、その感覚の触媒となることを目指しました。美しい木目に装飾された壁のようにも影絵のようにもなる。古来より日本人が持ち合わせている「仕切る」という行為の現代的解釈=それが「shi-ki-ri」	
Beppin	加藤木材産業(株)(静岡)	エクステリア	天然青森ヒバの特性(防虫、抗菌、消臭)を活かし、自然素材で日々の生活を豊かにする製品。加えて、当社独自の加工乾燥技術を活かし、木材の弱点である「木材腐朽菌の繁殖」を極端に抑えることに成功。木材保護剤としてはウッドロングエコ(天然成分のみ)を使用し、環境を考慮した完全自然素材のウッドデッキ。	

ハートフルデザイン部門

IMAGAWAきこり通気口	(株)イマガワ(岡山)	床・壁・内外装材	室内全循環型の空調システムを採用している住宅で床下からの空気取り入れ口に使用する商品。素材に安心・安全な国産檜を使用し、形状は縦ラインを基調としたシンプルなデザインとする事で、素材感とデザイン性を重視するユーザーをターゲットにした商品。フローリング厚に対応した2サイズ展開で、通気量の調整機能あり。	
Takumi Japan	(株)イクタ(愛知)、ゴールデンバロール(石川)	床・壁・内外装材	恐らく日本初の箔を使ったフローリングが完成。表面材には国産の挽き板を使用し、うづくりにした部分に箔を入れて木目を活かしたフローリングが完成。日本人のさりげなさを意識した沈金の技術。そして、使用している金箔は金沢箔。さらに伝統工芸士の手によって押しています。まさにTHE MADE IN JAPAN。	

ソーシャルデザイン部門

プレミアム檜集成材	(株)日本ハウスホールディングス(東京)	構造材	本提案は、輸入依存の高い構造材において「国産檜」を活用すること。利用価値が無く、山に放置されがちな高齢木の辺材や根曲り材を活用すること。集成材の最外層のラミナを継目無しの無垢通しとすることで強度を高め、今までタブー視されてきた、檜の「梁材」活用を実現した。国産材の消費量を増やすきっかけとしたい。	
-----------	----------------------	-----	--	---

受賞作品名	受賞団体名(主たる応募者、共同応募者)	サブカテゴリ	受賞作品の概要	写真
ひょうごの里山の建材(コナラ・クヌギ)	(株)しその森の木(兵庫)、正垣木材(株)(兵庫)、(株)山田林業(兵庫)、(株)山弘(兵庫)	床・壁・内外装材	上質な質感がありながら、利用されていなかったジャパンオークのコナラ・クヌギを建材(フローリング・フリー板)として開発しました。高い耐摩耗性能で公共施設など土足の使用にも耐え、防傷・意匠性が問われるキッチン天板など家具用材としての使用にも最適です。チークより高い密度、栗にも相当する意匠性が特徴です。	
SYSTEMA31e	YKK AP(株)(東京)	開口部(窓・ドア)	商業施設や公共建築物における高意匠化や内装木質化へのニーズを受け、SYSTEMA31eは業界初となる「木化粧仕様」を設定。アルミフレームにアタッチメントを介して、木材を組合せることで、“温かみ”ある空間を実現。地産材による加飾を可能にし地球環境配慮のみならず、地域林業の活性化を視野に入れている	
木製防球格子戸	帝国器材(株)(東京)	インテリア	国産・地域産材の利用を目的とし、体育館や武道場の開口部前に取り付ける木製防球格子戸です。木材の特徴であるしなやかさを活かし伸縮等の変形に対応する技法を駆使し、格子の強度と耐久性を高め、JIS衝撃試験をクリアした製品となっています。採光性や通気性に優れ、木の温もりも感じさせる空間演出を目指しています。	